

<論文>

モンゴル語の形容詞につく接辞 -xAn Mongolian suffix -xAn for adjective

山田 洋平
Yohei Yamada

東京外国語大学世界言語社会教育センター
Tokyo University of Foreign Studies

要旨: モンゴル語における -xAn は形容詞に付される指小辞であるとして扱われてきたが、実際にどのような語に付され、どのような意味や機能を担うのかは明らかにされてこなかった。形容詞に付されるとしても、形容詞という語類の認定にも問題がある。また -xAn が付された語は意味が弱められるばかりでなく、逆に強められるのであるとする先行研究もある。

本稿では Dixon (2010) の形容詞の意味分類に基づいて、モンゴル語の形容詞を意味の面から仮に 219 語選び出す。その上でそれぞれの語に -xAn が付されうるのか、コーパスの検索によって検証する。その結果、形容詞と呼ばれうる語の多くには -xAn が付されうるものの、-xAn を実際に伴って使用される語は「小さい意味」を有するなど意味的に偏りがあることが明らかになった。

Abstract: Although in the Mongolian language, the suffix -xAn has been regarded as a derivational diminutive for adjectives, to what kind of words the suffix is added or what kind of functions the suffix has is unclear. The definition of adjectives in Mongolian is also problematic. Some literature says the function of the “diminutive” suffix is not to weaken an adjective’s meaning but to strengthen it. This paper makes two contributions. First, it lists adjectives in Mongolian, chosen based on a typological study of adjectives by Dixon (2010). Next, it investigates the Mongolian adjectives that tend to add the suffix -xAn. Results show that many words with adjective-like meanings can add the suffix -xAn, but the preference for the suffix emerges according to the adjective’s meaning.

キーワード: モンゴル語, 派生接辞, 形容詞, 指小辞, コーパス

Keywords: Mongolian, Derivational suffix, adjective, diminutive, corpus



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

1. はじめに

モンゴル語¹には従来「指小辞」と呼びならわされてきた接辞 **-xAn** がある。この接辞は形容詞あるいは形容詞的な語 (2.2. 節で詳述) に付され、「ちょっと」あるいは「とても」のような弱意や強意の機能を持つとされる。例文 (1) では形容詞のものと形と、接辞 **-xAn** が付された形を示した。後者に付した日本語訳のうち上段は新蒙漢辞典 (《新蒙漢词典》编委会 (编)(1999)) を、下段は解説辞典 (Mongol xelnij ix tajlbar tol' (2016)) を参照して訳出した。sajn と sajxan のように、接辞 **-xAn** がつくると意味が変わるケースもある。

(1) xyamd	amttaj	adil	sajn	
安い	おいしい	同じだ	良い	
xyamdxa	amttajxa	adilxa	sajxa	
やや安い	ややおいしい	全く同じだ	美しい	(新蒙漢辞典)
かなり安い	かなりおいしい	かなり同じだ	見た目が完璧だ	(解説辞典)

接辞 **-xAn** は、筆者のモンゴル語使用の実感として頻度のとても高い要素であるが、これまで十分な記述はされてきていない。例えば接辞 **-xAn** がどのような語に付されどのような語に付されないのか、明らかではない。また (1) にも見られるように、その意味の表すところも辞書により異なり、「弱意」なのか「強意」なのかよく分かっていない。

本稿では接辞 **-xAn** がどのような形容詞に付され、どのような頻度で用いられるかを数値で示し、その機能についても若干の記述を試みる。頻度についてはコーパスやウェブ検索を利用した。

以下、2. では本稿の議論の前提となる事項について、先行研究を紹介しながらまとめる。3. では調査方法を示し、4. で分析を行い、5. でまとめる。

2. 先行研究

本節ではまず 2.1. で **-xAn** について述べている先行研究をまとめる。本稿では特に形容詞について扱うことから、2.2. で形容詞に関する先行研究も概観する。2.3. で先行研究の問題点を指摘する。

2.1. **-xAn** とは

2.1.1. **-xAn** の形態的特徴

-xAn は基本的に名詞類の語の語幹に付しうる派生接辞である。**-xAn** は格接辞のような屈折接辞を挟むことなく、名詞類の語幹に直接付されるものと考えられる。語幹が **n** で終わる語については語幹末の **n** が削除されて **-xAn** が付される²。

¹ モンゴル語はモンゴル国や中国内モンゴル自治区などに分布する膠着型・接尾辞型の形態論を有する言語である。本稿ではとくにモンゴル国で使用される書き言葉を対象として調査を行ったが、先行研究としては内モンゴルで使用されている書き言葉を対象とした研究も扱った。本稿ではモンゴル国で使用される文字を以下の通りラテン文字に転写して示す。(右がラテン文字) a:a, б:b, в:w, г:g, д:d, е:yö/ye, ё:yo, ж:ž, з:z, и:i, й:j, к:k, л:l, м:m, н:n, о:o, ө:ö, п:p, р:r, с:s, т:t, у:u, ү:ü, ф:f, х:x, ц:c, ч:č, ш:š, ь:’, ы:y, ь:”, э:e, ю:yu/yü, я:ya。本稿で先行研究を参照する際には、内モンゴルで使用される書き言葉についても、便宜上モンゴル国で使用される書き言葉に対応させて示す。また接辞の代表形として **-xAn** のようにラテン文字の大文字を使用している場合、音韻的な条件により複数の異形態を以て実現することを意味する。実際の検索にあたっては表記の揺れを考慮し、それぞれ異なる母音を当てはめての検索も試している。

² 語幹末の **n** が削除される時、綴りにおいて **n** の直前が短母音であればこの短母音も削除されることがある。この短母音の削除のルールについては詳述を避けるが、語例の検索に当たっては綴り揺れが

名詞類とは、狭い意味での名詞 (実詞とも) や形容詞、副詞などを含む語類であり、次節で述べるように名詞・形容詞・副詞を形態的に区別することは難しい。その上で、より名詞的な意味の語については -xAn が付されるとしても限定的であり、共時的な生産性は高くはないことが山越 (2012: 226) や風間 (2020: 48-50) において指摘されている。風間 (ibid.) はこの他に指示代名詞や場所を表す副詞、時間を表す副詞などに -xAn が付くことがあることを例示している。

同形の接辞的な要素に -xAn 「～の人々」があるが、これは属格接辞の後ろにのみ付されるものであり (塩谷 2007: 44)、この点において本稿で扱う -xAn とは異なるものと考え、考察の対象としない。

名詞類以外の語に付されるケースとして、動詞の副動詞接辞 -n のあとに -xAn が付されることがあるとの指摘もある (Janhunen 2012: 165) が、これも本稿では考察の対象とはしない³。

2.1.2. -xAn の意味的特徴

-xAn が形容詞的な語に付された場合について、向井 (2006) では「程度そのものが「小さい」ことを表す」とし、Janhunen (2012: 119) はこれを指小辞であるとして訳語に *rather* をつけている。

これに対し塩谷 (2007: 43) では「原則として、あるものの性質を《小さいもの、不十分なもの》として示すことを表す」とし、形容詞的な語に付された場合には (こうした意味のほか) 「さらに《強調》の意味が加わる。これは日本語の《かなり～、幾分～、やや～、少し～、もっと～》に当たるように思われる」としている。Kullmann & Tserenpil (2005: 218) でもこれを指小・愛称形としつつ、英語の接辞 “-ish” や副詞 *quite, rather* で表現されるものであるとしている。

清格尔泰 (1991: 186-187) では -xAn を形容詞の比較の範疇として扱い、比較級や最上級と同列あるいはこれに類するものと見ている。比較の範疇とされる表現は、次の表に示す通りである。清格尔泰 (1991: 187) は表 1 における「弱程度」「強程度」について「それ自体の性質の程度の強弱に着目するものであるが、間接的に比較の意味を表すものである」としている。

表 1. 形容詞の比較の範疇

程度と級	構成	例
一般程度／原級	形容詞語幹形	ulaan 「赤い」, cagaan 「白い」, sajn 「良い」, öndör 「高い」
弱程度	①形容詞語幹-wtAr ②形容詞語幹-xAn	ulaawtar 「比較的赤い」, cagaaxan 「比較的白い」, ixeexen 「比較的大きい」

現れる可能性も鑑みて、短母音が削除された語形と削除されない語形の両方を念のため調べる。

³ 動詞の副動詞接辞 -n のあとに現れる -xAn は、見た目の上で子音 n のあとに現れる点が本稿で扱う -xAn と大きく異なるように見える (形容詞語幹末尾の n と動詞の副動詞接辞 -n が別要素であるからと説明できる可能性もある)。Janhunen (2012: 165) はこの形式を「機能を変えることなく」生じるものであるとするが、こうしたあってもなくても意味が変わらなそうところが、本稿で扱う -xAn と同じものであるように感じさせる。ジンガン・コーパス (コーパスの詳細については 3.3. を参照のこと) で動詞語幹に副動詞接辞 -n が付され、その後ろに -xAn が付された形式 nxAn で終わる語形を検索してみた結果、得られた出現頻度の高い上位 10 形式は次の通りである。語形、意味、出現数の順に示す。ezegnenxen 「支配して」 156, erxlenxen 「管理して」 76, širtenxen 「見つめて」 51, melmerenxen 「溢れて」 48, ergeldenxen 「回って」 48, ayalanxan 「旅して」 48, uyananxan 「心が傷ついて」 45, gangananxan 「水鳥が鳴いて」 40, dogdlonxon 「ドキドキして」 40, towolzonxon 「すたすた歩いて」 40。これらはいずれも使用頻度の高い動詞ではないので、この形式の使用される動詞がおそらく語義の面で偏っているであろうことが示唆される。なお、使用頻度の高い動詞がこの形式を取る例も若干検出される。本稿ではこの -xAn についてこれ以上の分析をすることはせず、今後の課題としたい。

強程度	①形容詞語幹の語頭 1 モーラ目の重複-w 形容詞語幹形 ②程度副詞 maš / tun 形容詞語幹形	uw ulaan 「真っ赤」, xaw xaluun 「とても熱い」, maš sajn 「とても良い」, tun muu 「たいへん悪い」
比較級	比較対象となる語-AAs (奪格) 形容詞語幹形	uulnaas öndör 「山より高い」, dalajgaas gün 「海より深い」
最上級	①程度副詞 xamgijn / tujlyn 形容詞語幹形 ②形容詞語幹-AAs (奪格) / -YN (属格) 形容詞語幹形	xamgijn xünd 「一番重い」, erxmees erxem 「何よりも貴重な」, ixijn ix / ixees ix 「何よりも大きい」

(清格尔泰 1991: 187 の表を参考に、表記や「構成」における分析を改め、和訳も筆者が付したもの)

2.2. 形容詞について

モンゴル語における形容詞あるいは形容詞的な意味を表す語は、格接辞が付されるなどの形態的特徴を狭い意味での名詞 (実詞) と共有する。このことからモンゴル語学においてこれらは名詞類と総称され、形容詞はその下位分類として位置づけられている。

山越 (2000) はこうしたモンゴル語学における「形容詞」の扱いについて研究史を概観し、従来の研究では「形容詞」の明確な基準が立てられていないことを指摘している。この上で、統語上の制約や語彙化の作用を考慮すると「形容詞」が「名詞」から区別されるべき十分な根拠があると論じている。

清格尔泰 (1991: 184) は典型的な形容詞の特徴として意味的・統語的な特徴のほかに、格接辞などが付されることや比較の範疇があることを挙げている (2.1. 表 1)⁴。格接辞が形容詞につくことについては「名詞の格と全く同じであるとは言えない」(清格尔泰 1991: 188) とするが、具体的に異なる点を示してはいない。おそらくこれは表出される意味に関して述べているのであろう。

モンゴル語の辞書類では具体的な基準を設けて「形容詞」という品詞をたてるということをしていない。例えばモンゴル語の正書法辞典 (Mongol Ulsyn Yörönxijlögčijn dergedex Xelnij bodlogyn ündesnij zöwöl 2018) では、品詞分類として名詞 (実詞 “jinxene ner” lit. 本当の名前) や形容詞 (“temdeg ner” lit. 印の名前) を立てるが、その判断基準は明記されていない。この上で前者にのみ格変化などの語形変化を示し、後者にはこうした語形変化を示していない。蒙漢辞典 (内蒙古大学蒙古学研究院蒙古语文研究所 (編) 1999: 1450, 1460-1461) では形容詞を名詞類 (「静詞類」) の下位に据えた上で「物事の性質や特徴を表すもので、級の変化を有する」とし、表 1 で見た清格尔泰 (1991: 187) による「比較の範疇」を掲載している。清格尔泰 (1991: 184) がこれを形容詞の典型であるとしたのに対し、蒙漢辞典ではこれを形容詞の定義であるかのように扱っている点が異なる。

2.3. 先行研究の問題点

-xAn が形容詞に生産的につけられるということは先行研究でも指摘されているが、おそらく全ての形容詞に付されるわけではない。そして具体的にどの語に付され、どの語に付されないのかは示されていない (個別に辞書を確認するしかない)。その機能についても、「指小辞」という従来の名称から連想する「弱意」と、これとは全く反義である「強意」があるとされ、その実態もよく分かっていない。

そもそも形容詞とは何であるのか明確にしないまま、形容詞には -xAn がつきやすいと説明されている点も問題である。辞書において「形容詞」という品詞が立てられていても基準は示されておらず、形容詞とは何か説明する研究でも具体的にどの語が形容詞であるのか十分には示してはいない。

⁴ 表 1 における「強程度」については、形容詞の多くを名詞と分かつ特徴として Poppe (1951: 32) も言及している。

3. 調査方法

3.1. 調査の概要

本稿では -xAn が具体的にどのような語につくのか、形容詞ならば -xAn が付くと言えるのかを検証していく。そのためにまず意味的な観点からモンゴル語の形容詞的な意味を有する語をリストアップし、これらに -xAn がつくのか否かをコーパス調査によって明らかにしていく。次いで、頻度の高い語を取り上げて調査を行い、使い分けや意味・機能の検討をする。

以下では 3.2. で形容詞の選定について、3.3. でコーパス調査についてそれぞれ述べる。

3.2. 形容詞の選定

Dixon (2010) と清格尔泰 (1991) を参照し、意味的な観点からモンゴル語の形容詞的な意味を有すると考えられる語を選び出す。以下ではここで選び出した語を形容詞と呼称する。

Dixon (2010: § 12.4) では、世界の言語一般において「形容詞」という独立した語類として立てられそうな意味を 3 セット 13 タイプに分類している。セット A は形容詞を比較的小さな閉じたグループとして立てるような言語でも形容詞として選ばれそうな意味のタイプで、1. Dimension (規模), 2. Age (経時), 3. Value (価値), 4. Colour (色彩) が含まれる。セット B はセット A よりも大きめのグループとして形容詞が立てられる言語において選ばれそうなタイプで、5. Physical Property (物理的特性), 6. Human Propensity (ヒトの性質), 7. Speed (速度) が含まれる。セット C は大きなグループとして形容詞が立てられる言語における、その他の意味タイプで、8. Difficulty (難易), 9. Similarity (同異), 10. Qualification (評価), 11. Quantification (数量), 12. Position (位置), 13. Cardinal Numbers (基数), Ordinal Numbers (序数) が挙げられている。

清格尔泰 (1991: 180-183) はモンゴル語の形容詞の具体的な語例を挙げながら、意味的には物事の性質、数量、形状を表すもの、ヒト (や動物) の特性や特徴を表すもの、(光や家畜の) 色を表すものが含まれるとし、さらに「事物の性質を表すために、他の事物を表す語から派生された形容詞」や「動作の状態という側面から事物を説明する派生形容詞」などがあるとしている。

モンゴル語の形容詞の選定にあたっては、Dixon (2010) の分類 1~12⁵を利用して整理し、清格尔泰 (1991) が挙げる語例を加味して、モンゴル語として頻用のものを選び出すように努めた。Dixon (2010) の挙げる若干の英語形容詞の例も参考にし、日本語形容詞をまず挙げ、和蒙大辞典 (デムベレル 2012) でモンゴル語訳を付した。この際、モンゴル語の従来品の品詞分類上動詞に属するもの (ここでは動詞語幹に動詞接辞 -x, -sAn, -dAg, -AA, -šgüj が付されたもの) を基本的に除外した。名詞に属格接辞が付されたものも除外した。清格尔泰 (1991) は時間や場所を表す語に -x を付して連体修飾語になったものや、場所名詞 + dax'/dex も形容詞として挙げるが、これらも除外した。綴り上 2 語から成っていると判断したものも除外した。またライブツィヒ・コーパス (コーパスの詳細については次節) を用いて出現頻度の低いもの (語幹形の出現数 20 以下かつ -xAn の出現数も 20 以下) も除外した。

その他、他の語から派生して成った形容詞は除外しない。例えば -tAj 「～持ちの」を含む語も多数選出されている。名詞であるように感じられる語 (筆者のモンゴル語学習者としての感覚として、和訳すると名詞に訳されそうな語。例えば coorxoj 「穴」) であっても、清格尔泰 (1991) が形容詞として挙げていればひとまず除外しない。

実際に選出した形容詞 219 語については 4. を参照されたい。

⁵ 13. 基数, 序数 を表す語は本稿で扱う形容詞から除外するほどの根拠もなく、かつ -xAn が付されうることも知られているが、本稿における目的からして、紙幅の都合で割愛することとした。

3.3. コーパス調査

3.2. で選出した個々の形容詞について、電子コーパスの用例検索を行うことで、-xAn のついた形が現れるのか否かを検証した。検証にはジンガン・コーパスとライブツィヒ・コーパスの2種類のコーパスを用いた。

ジンガン・コーパスはジンガン (2010) で使用されているジンガン氏が構築したコーパスである。一般公開されているものではなく、ジンガン氏のご厚意で使わせていただいているものである。形態素分析やアノテーションは付されていない。検索にあたっては、フリーのコンコーダンスソフト AntConc を使用した。収録されたファイルはジャンルごとに整理されており、小説、新聞、物語から成る (ジンガン (2010) ではさらに映画のシナリオも含まれているが、提供いただいたコーパスデータには含まれていなかったため本稿では調査対象としない)。新聞コーパスはさらに政治・経済、芸術・スポーツ、インタビューに別れている。本稿ではこれをインタビュー記事 (総トークン数 674,045) とその他ニュース (総トークン数 127,128) とに分け、小説 (近代文学作品, 総トークン数 961,933) と物語 (民話作品, 総トークン数 19,021) と比較して示す。

ライブツィヒ・コーパス (<https://wortschatz.uni-leipzig.de/en>) では 250 以上の言語の 900 種類以上のコーパスが公開されており、この中にモンゴル語のコーパスも用意されている。検索可能なコーパスとしてはウェブ上のニュース記事を収集したものとして 2011, 2019, 2020 年のものがあり、ウィキペディア記事を収集したものとして 2021 年のものがある。本稿ではこの中でも総トークン数約 524 万語である newscrawl_2011 (2011 年のモンゴル国で発信されたニュース記事を収集したもの) を用いた。このコーパスサイトでは検索した語形の出現頻度を当該コーパス内での順位で表示させることが可能である。

いずれのコーパスも基本的に語形でのみ検索したので、検索性には屈折接辞が付された形式は含まれない。また、語によっては同音異義語などの検索上のゴミが目立つものもあるが、語義によって選り分けるといことはしなかった。問題のある検索性については、4. で個別に説明を付す。

また補足的に Google 検索を用いた調査も 2021 年 12 月 10 日に行った。Google 検索では条件を指定せず、検索窓に当該の語形のみを入力して検索結果を求めた。

4. 形容詞と-xAn

4.1. 概要

以下では Dixon (2010) の分類に従って 1~12 の意味タイプごとに選出した形容詞を示し、それぞれ -xAn が付されるのか否かを検証した結果を表 2~19 で一覧にして表示する。それぞれの表の見方を図 1 に示す。

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
①	②	③	④	⑤	⑥
大きい			√意味が対になるペアは破線で区切る		
小さい		√意味が対になるペア同士の間は太線で区切る			
長い					
短い	√意味が対にならない形容詞は二重線の下に				
赤い					

図 1. 語の表示方法の例

①は検索する語の凡その和訳である。語彙の選出の際に元にした日本語であり、一つの語義に複数の

モンゴル語形容詞が対応するものもある。本来であれば厳密な訳し分けをすることで、-xAn を付すことの可否などの要因を解明するのに役立つ可能性もあるが、本稿ではこの点の追及をしなかった。1~12の意味タイプへの分類については、日本語でのイメージに基づいて恣意的に行った部分がある。語によっては複数の意味タイプにまたがるものや多義語も含まれるが、同一の語(語形)を複数の意味タイプに属させることはしていない。個々の形容詞の意味記述は筆者の手に余ることであるので、本稿では詳細には扱わない。付された語義についてはこの点も留意されたい。

②は検索する語の -xAn を付さないもとの形である。これを以下では「原形」と呼ぶ。ライブツィヒ・コーパスを用いて、③原形の検索件数と④-xAn を付した形の検索件数を示し、⑤頻度には④を③で割った数値を百分率で小数点以下2位まで示した。

⑥-xAn の意味とは、解説辞典 (Mongol xelnij ix tajlbar tol' (2016)) で見出し語となっている場合の記載方法について記したものである。この辞書では例えば uudam 「広い」という語に対する uudamxan という語形を調べると、“neleed uudam” 「かなり広い」との語釈が書かれている。このように neleed 「かなり」⁶ という修飾語で -xAn のないもとの語形を修飾した形で説明されていることが多い。この場合、表では単に「かなり」と記す。他方, бага 「小さい」に対する bagaxan という語形に関しては詳しく「1. “baga” (「小さい」) という意味を加えたり減じさせたりした意味。2. [古] 側妻。」とあり、連語や用例も掲載されている。こうした連語や用例、その他の意味が -xAn の語義の解釈に役立つ可能性もあるが、ここでは「加えたり減じたり」(つまり「強意」でも「弱意」でもある) から「加減」と記載する。空欄は -xAn のついた語形が見出し語として掲載されていないことを表す。/ (スラッシュ) は原形となる語を用いない説明であることを示す。その他取り上げて説明する必要のある場合には * (アスタリスク) を付した。

その他、補足すべき事項について、表の下にそれぞれ記載した。

以下、4.2. では形容詞の一覧と調査結果を示し、4.3. で分析を行う。

4.2. 調査結果

以下、Dixon (2010) の分類に従って選び出した形容詞を一覧にし、表2~表19で示す。表2から順に規模、経時、価値、色彩、物理的特性、ヒトの性質、速度、難易、同異、評価、数量、位置の順で示すが、中でも「価値」は「良し悪し・好き嫌い」「美醜・衛生」「その他」に分け、「ヒトの特性」は「性格」「健康状態・能力」「感情」「その他」に分けて別の表で示す。

表2. 規模タイプの形容詞 18語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
大きい	ix	15198	762	5.01	かなり
	tom	4637	24	0.51	
小さい	baga	3186	88	2.76	加減
	ᠵᠢᠵᠢᠭ	1146	240	20.94	かなり
	byacxan		329	-	/
	öčüüxen		214	-	/
広い	örgön	1527	0	0.	かなり
	uudam	120	0	0.	かなり
	uujim	40	1	2.50	かなり

⁶ 同じ解説辞書で neleed という語を調べると、「動作や事柄の程度や状況が小さくなく、思ったよりもより多くあること」とある。

狭い	yawcuu	73	1	1.36	かなり
	dawčuu	21	6	28.57	“baaxan” 非常に
長い	urt	863	3	0.34	かなり
短い	bogino	426	47	11.03	加減
太い	büdüün	89	2	2.24	かなり
細い	narijn	1743	40	2.29	かなり
厚い	zuzaan	135	1	0.74	かなり
薄い	nimgen	80	3	3.75	かなり
深い	gün	508	0	0.	

「大きい」 tom, ix はいずれも例外的な語形を有する。tom に対する tomxon は 24 件検出されたが、tomooxon という語形も 1169 件検出された。これも加えると -xAn の数は合計 1193 件となり、頻度は 25.72%となる。ただし tomooxon という語形は《新蒙漢詞典》編委会 (編)(1999) によると tom に -xAn がついた形であると同時に tomoo 「形」という語に -xAn がついた形でもあるという。tomoo は本稿での調査における tomootoj 「大人しい」(表 9) の語根であり、tomooxon にもそうした語義のものが含まれている可能性がある。ix は「解明辞典」によれば -xAn を付した ixxen という語形もあるようだが、検出されなかった。上記の検索件数は ixexen という語形で検索した結果である。こうした形式⁷が「大きい」という意味的要因によって生じたものであるかどうかは、不明である⁸。

「小さい」には -xAn がついた形しかなく見える語 byacxan, öcüüxen がある。表ではこうした「-xAn がついた形しかなく見える語」は、「原形の件数」を網掛けとし、原形の欄に記入した語形で検索した結果を「-xAn の件数」に記した。こうした語についても、-xAn の無い形 byac, *öcüü, *öcüün を検索し -xAn を付さない形が本当にないのか確認した。byacxan から -xAn の部分を除いた byac という語形は存在するが、動詞前辞と呼ばれる語であり、おそらく形容詞的な性質を有さない。また、「-xAn がついた形しかなく見える語」にもさらに -xAn がつけられるのではないかと *byacxaxan, *öcüüxxen⁹ といった語形で検索したが、用例は得られなかった。意味としては「もとの語に対する意味の変化」を表す形式になっていないので、/ (スラッシュ) を付して比較できる記載がないことを示す。

「浅い」güyen は用例数が少ないため調査対象としなかった。この語は原形が 0 例で、-xAn がついた güyexen のみが 7 例検出された。この語については、原形 güyen が各種辞書で確認できるため、「-xAn がついた形しかなく見える語」であるとは見做さない。

「深い」gün に -xAn が付された形は、ライブツィヒ・コーパスでの検索件数がゼロで、辞書にも掲載されていないが、Google 検索で güxen という語形を調べてみると、3 件ほど用例を見出すことがで

⁷ この形式が分析可能な 2 つの形態素の連続 -AA-xAn なのか、-AAxAn という単一の形態素であるのか、また単一の形態素だとして -xAn の異形態であるのかについてもここでは議論しない。ここで取り上げたいいくつかの形式は筆者が経験的に存在を知っていたために検索し得たが、その他の語についても同様の形式を取りうるのかどうかは検証していない。

⁸ 音韻的な要因によって付されている可能性もありうる。例えばモンゴル語では子音 x が母音を挟まずに連続しにくく、それが ixxen ではなく ixexen という語形になる理由であるのかもしれない。しかし tomooxon についてはこれでは説明できない。ほかに negeexen 「たった一つの」(< neg), beleexen 「準備ができた」(< belen) にも同一と見られる形式が現れる。なお、表 7 の xöx 「青い」は Google 検索によって x が連続した xöxxön という語形が得られるが、用例は多くない。

⁹ -xAn で終わるように見える語の語末の n と母音を削除して -xAn を付すという操作を行うと、子音 x の連続が生じる。注 8 でも触れたようにこうした音韻的な要因がこの語形を妨げている可能性もある。

きた (2). この表における件数 0 と辞書の掲載無しは、必ずしもそうした語形が存在しないことを表すものではないという点にも注意されたい。

(2) *ereg orčimyn güxen usand bij boldog.*

ereg orčim-Yn güxen us(n)-d bij bol-dAg.

岸 近く-の 深めの 水-に ある なる-習慣「岸近くの深めの水の中にできる」

(https://prezi.com/p_1wxviyfxuq/gtyg/ 2021/12/10 確認 スライド共有サイト)

概観すると規模の程度の意味が両極になるペアのうち「小さい意味」である「小さい」「狭い」「短い」(「浅い」)の方が、「大きい意味」である「大きい」「広い」「長い」(「深い」)と比べて -xAn の出現が顕著であるように見える(「太い」に対する「細い」と「厚い」に対する「薄い」は僅差)。

また辞書上の意味はほとんどが「かなり」の意味を加えた語積であり, *baga* 「小さい」, *bogino* 「短い」のみ「加減」すなわち弱意か強意のいずれかであるという説明となっている。 *dawčuū* のみ *baaxan* 「非常に、少し」という語で形容しているが, *neleed* 「かなり」とのニュアンスの違いを示すものだろうか。

表 3. 経時タイプの形容詞 8 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
新しい	<i>šine</i>	4567	184	4.02	かなり
古い	<i>xuučin</i>	852	0	0.	
若い	<i>zaluu</i>	2170	106	4.88	かなり
年少だ	<i>balčir</i>	63	5	7.93	“ <i>dendüü</i> ”極めて
老いた	<i>nastaj</i>	2079	0	0.	かなり
	<i>xôgšin</i>	234	0	0.	かなり
早い	<i>ert</i>	465	45	9.67	かなり
遅い	<i>oroj</i>	758	17	2.24	かなり

šine 「新しい」に -xAn のついた *šinexen* には *neleed* 「かなり」による語積の他に, *šiw šine* 「真新しい」という強調表現が用いられていた。 *balčirxan* には *dendüü* 「極めて」による語積があった。

xuučin に -xAn のついた形は Google 検索で 1 件だけ用例が得られた。

「老いた」に -xAn のついた用例が得られず, 「若い」「年少の」に -xAn の用例があることは, 表 2 で見た「小さい意味」に偏りやすいことと並行的な現れかもしれない。同様に「新しい」「古い」と「早い」「遅い」に見られる若干の偏りも, 時間の経過の具合からみて「小さい意味」とも言いうるだろう。

表 4. 価値タイプ: 「良し悪し・好き嫌い」に関する形容詞 20 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
良い	<i>sajn</i>	5768	3634	63.00	*
	<i>oligtoj</i>	132	23	17.42	かなり
悪い	<i>muu</i>	1946	43	2.20	かなり
	<i>taaruu</i>	156	65	41.66	
面白い	<i>sonin</i>	1598	11	0.68	かなり
	<i>sonirxoltoj</i>	608	0	0.	

つまらない	sonirxolgüj	49	0	0.	
妥当だ	zoxistoj	166	0	0.	
	toxiromjtoj	75	0	0.	
不当だ	zoxisgüj	56	0	0.	
快い	ayataj	127	79	62.20	かなり
不快だ	ayagüj	47	0	0.	かなり
好きだ	durtaj	829	0	0.	
	taalamjtaj	57	0	0.	
嫌いだ	durgüj	347	1	0.28	“neleen”かなり
愛する	xajrtaj	372	0	0.	
すごい	gajxamsigtaj	106	0	0.	
変だ	jigtej	22	111	504.54	かなり
	xaĉin	274	0	0.	
無意味だ	demij	219	0	0.	

sajn「良い」に対する sajxan は「美しい」という意味の別の語義を表すものとして知られている。使用頻度の高い sajn「良い」と muu「悪い」の対立として見ると、「良い」 sajn に対する sajxan の頻度比率に偏るように見えるが、taaruu「悪い」という語でも -xAn が多数現れるので、「良し悪し」という意味が -xAn の可否に影響しているわけではなさそうである。

「良し悪し・好き嫌い」に属する語としては ayataj「快い」と jigtej「変だ」に -xAn の出現が偏り、とくに後者は -xAn の付く用例の方が多い。それ以外には -xAn が付されにくいようである。

durgüj「嫌いだ」に -xAn を付した durgüjxen の語釈には neleed「かなり」に意味・語形ともよく似た neleen が使用されているが、そのニュアンスの異なり等は分からない。

ここでは辞書の見出し語に -xAn の形が載っていない語も多いが、派生接辞 -tAj を含むやや長めの語が多いことも理由にあるかもしれない。ただし、jigtej のように -tAj を含む語形でも -xAn が付きやすいという語もある。Google 検索で調べると sonirxoltoj「面白い」や zoxistoj「妥当だ」、zoxisgüj「不当だ」に -xAn が付く用例が若干と durtaj, taalamjtaj「好きだ」に -xAn が付く用例が多数検出される。

表 5. 価値タイプ：「美醜・衛生」に関する形容詞 10 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
美しい	goyo	505	6	1.18	かなり
	üzesgelentej	57	0	0.	
汚い	muuxaj	350	0	0.	かなり
	boxir	200	0	0.	
	buzar	66	0	0.	
	zawaan	39	0	0.	かなり
芸術的だ	uran	2469	0	0.	かなり
	urlag	500	0	0.	
清潔だ	cewer	748	75	10.02	かなり
	ariun	368	4	1.08	“maš”とても

「美醜・衛生」で -xAn が付くのは「清潔だ」cewer に偏る。
「清潔だ」ariuxan の語釈では「かなり」neleed より頻出の程度副詞「とても」maš が使用されている。
üzesgelentej 「美しい」, boxir 「汚い」も Google 検索で -xAn のついた用例が若干得られる。

表 6. 価値タイプ：その他の形容詞 7 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
安い	xyamd	394	85	21.57	かなり
(値段が)高い	üneteј	872	0	0.	
役立つ	tustaj	141	0	0.	
便利だ	ašigtaj	630	0	0.	
	awsaar	48	18	37.50	かなり
	zoximјtoj	33	0	0.	
準備ができた	belen	1208	11	0.91	= belen

belen 「準備ができた」に -AAxAn/-AA-xAn を付した beleexen という語形も 21 例見つかる。この語形を辞書で調べると、語釈にも belen という語が用いられていて、意味の違いはないかのように見える。

価値タイプ：その他では「安い」「(値段が)高い」において xyamd 「安い」に -xAn が偏り、「小さい意味」に偏ると説明できる。他方 awsaar 「便利だ」は -xAn の付く例が多いが、類義の他の語には -xAn が付された例が得られない。-tAj を含む語形であるためか。

üneteј 「(値段が)高い」, tustaj 「役立つ」, ašigtaj 「便利だ」は Google 検索にて -xAn のついた用例の若干あることが確認できる。

表 7. 色彩タイプの形容詞 22 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
白い	cagaan	1583	11	0.69	かなり
黒い	xar	2190	2	0.09	かなり*
赤い	ulaan	1056	8	0.75	かなり*
青い	xöx	284	0	0.	かなり*
	cenxer	238	4	1.68	かなり
黄色い	šar	702	2	0.28	かなり
緑色だ	nogoon	511	2	0.39	“neleen”かなり
ピンク、紫だ	yagaan	109	2	1.83	
茶色だ	bor	321	1	0.31	加減
明るい	gegeen	254	4	1.57	
	saruul	155	7	4.51	かなり
	gerelteј	57	0	0.	
暗い	xaranxuj	146	0	0.	かなり
	büdeg	46	9	19.56	かなり
澄んだ	tungalag	126	2	1.58	
はっきりした	todorxoj	2907	0	0.	
	tod	709	37	5.21	

(馬)鹿毛だ	xeer	212	0	0.	
(馬)栗毛だ	zeerd	34	0	0.	
まだらだ	alag	108	1	0.92	
	ereen	66	0	0.	
	cooxor	35	0	0.	かなり

色を表す語 xar「黒い」, ulaan「赤い」, xöx「青い」では、辞書の説明に他とは異なる特徴が見られる。他の語と同じ「かなり」neleed とともに、可愛がる (öxöördöx) 意味が加わるという。「赤い」ulaan にはさらに小さくする (bagasgax) 意味も加わるとされている。

同じ「はっきりした」でも tod の方が todorxoj よりも -xAn が付きやすいのは、語形の短いことと関係があるのかもしれない。

コーパスから得られず、辞書の見出し語にもない語として gereltej「明るい」, todorxoj「はっきりした」, ereen「まだら」も、Google 検索によって -xAn の付された用例が確認できる。xeer「鹿毛」, zeerd「栗毛」も -xAn の付された語形が検出されるが、愛らしい馬そのものを指すのに用いるようである。

表 8. 物理的特性タイプの形容詞 29 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
固い	xatuu	1002	59	5.88	かなり
軟らかい	zöölön	281	19	6.76	かなり
	uyan	94	13	13.82	/
重い	xüüd	3643	64	1.75	かなり
軽い	xöngön	363	11	3.03	かなり “nen”
濡れた	nojton	79	0	0.	
乾いた	xuuraj	179	0	0.	かなり
空 (から) だ	xooson	418	0	0.	“dendüü”極めて*
	sul	386	28	7.25	かなり
詰まった	düüren	582	0	0.	
	bitüü	171	21	12.28	加減
音が大きい	čanga	260	10	3.84	かなり
静かだ	čimeegüj	186	24	12.90	
	sem	67	37	55.22	かなり*
調和した	yaruu	804	6	0.74	かなり
丸い	böörönxij	30	0	0.	
四角い	dörwöljin	68	0	0.	かなり
平らだ	tegš	385	12	3.11	かなり
	xawtgaj	44	0	0.	-
まっすぐだ	šuluun	78	36	46.15	かなり
途切れた	tasarxaj	61	0	0.	
穴の開いた	coorxoj	53	0	0.	
おいしい	amttaj	74	2	2.70	かなり

辛い／苦い	gašuun	122	0	0.	かなり
暑い／熱い	xaluun	710	22	3.09	かなり
寒い／冷たい	xüjten	663	0	0.	かなり
暖かい	dulaan	451	69	15.29	“neleen”かなり
	urin	63	3	4.76	-
涼しい	serüün	129	12	9.30	かなり

coorxoj「穴の開いた」は「穴」という意味の名詞であると解釈すべきかもしれない。

味を表す語には amtgüj「まずい」, čixerleg, čixertej, amlag「甘い」, dawstaj, dawslag, dawsarxag「塩辛い」, esgelen「酸っぱい」, そして料理に関係のある語として toslog「油っぽい」などがあるが、いずれも検索件数が少なかったため考察から除外した。

「静かだ」は、出現数が少ないため表から除いた語として semeer, alguur, ayaar などがあるが、いずれも -xAn の付く例が多い。原形：-xAn (%) で示すと semeer 2:6 (300%), alguur 16:9 (56.25%), ayaar 12:12 (100%) となる。なお、semxen「静かだ」の語積には namuu, ayaduu「落ち着いた」といった語が用いられている。

寒暖を表す語は対義語のペアとしてではなく、xaluun「暑い／熱い」に対する serüün「涼しい」, xüjten「寒い／冷たい」に対する dulaan「暖かい」などを見れば、「小さい意味」≒程度が弱い側に -xAn が偏っているようにも見える。

-xAn が付いた場合の語積について、xöngöxön には nen「いっそう」, xooson「空(から)だ」には dendüü「極めて」, бүр「すっかり」が使用されている。

nojton「濡れた」, düüren「詰まった」, böörönxij「丸い」, xawtgaj「平だ」は Google 検索で -xAn のついた用例を見ることができると。

表9. ヒトの性質：「性格」の形容詞 22 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
優しい	dotno	239	4	1.67	
	najrsag	105	1	0.95	
	najrtaj	26	0	0.	
付き合い良い	nöxörsög	44	0	0.	
穏やかだ	nomxon		40	-	/
	tomootoj	34	0	0.	
	namuun	11	28	254.54	かなり
	dölgöön	21	4	19.04	かなり
	daruu	56	73	130.35	かなり
真面目だ	šüdarga	1335	0	0.	かなり
断固とした	ers	710	4	0.56	かなり
勇敢だ	zorigtoj	141	2	1.41	かなり
	zürxtej	27	0	0.	
細心だ	nyambaj	33	0	0.	かなり
がさつだ	büdüüleg	133	0	0.	かなり
	bolxi	30	0	0.	

怠けた	zalxuu	34	0	0.	かなり
横柄だ	bardam	98	6	6.12	加減
狂暴だ, 激しい	dogšin	57	0	0.	
粗暴だ	širüün	195	32	16.41	かなり
残酷だ	xargis	113	0	0.	かなり
	xercgij	48	0	0.	かなり

「優しい」には他に eveldeg という語もあるが、これは動詞 evl¹⁰「和解する」に語尾 -dAg が付いたものなので除外した。しかしこの語は、原形 32 件の出現数に対し -xAn の付された形も 1 件検出された。

najrtaj「優しい」, tomootoj「穏やかだ」, zürxtej「勇敢だ」, büdüüleg, bolxi「がさつだ」は -xAn のついた用例がコーパスに現れず、辞書にも掲載されていないが、Google 検索ではいくらか検出される。

全体に出現数が少ないが、「穏やかだ」は -xAn の付された形が出やすいようである。nomxon は「-xAn がついた形しかないように見える語」である。tomootoj は表 2 の下で述べたように tomooxon という形式がありうる。namuun, daruu では原形よりも -xAn の形の方が頻用である。

表 10. ヒトの性質タイプ:「健康状態・能力」の形容詞 20 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
健康だ	erüül	2288	0	0.	
	sergelen	52	0	0.	
安寧だ	mend	539	0	0.	
丈夫だ	čijreg	35	0	0.	かなり
強い	xüčtej	1030	3	0.29	
	xüčirxeg	201	0	0.	
弱い	emzeg	200	6	3.00	“neleen”かなり
	doroj	111	2	1.80	かなり
	xüčgüj	32	0	0.	
太った	targan	77	0	0.	
痩せた	turanxaj	36	0	0.	かなり
目が不自由だ	soxor	48	0	0.	
利口だ	uxaantaj	191	0	0.	
	mundag	165	0	0.	
	uxaalag	148	0	0.	かなり
	cecen	78	0	0.	
愚かだ	teneg	192	1	0.52	-
賢い	mergen	225	0	0.	
有能だ	čadwarlag	128	0	0.	
無能だ	čadwargüj	124	0	0.	

¹⁰ 動詞の代表形として動詞語幹を提示する際、動詞語幹の直後に _ (アンダーバー) を付すことでこれを示す。

erүүл「健康だ」, xücgüj「弱い」, targan「太った」, uxaantaj, mundag「利口だ」, mergen「賢い」, čadwarlag「有能だ」, čadwarguj「無能だ」は -xAn の付いた用例が Google 検索によって若干見つかる。

表 11. ヒトの性質タイプ:「感情」の形容詞 12 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
幸せだ	ǰargaltaj	163	0	0.	
	aztaj	71	0	0.	
うれしい	bayartaj	409	0	0.	
	taataj	373	0	0.	
	xögjiltej	322	1	0.31	
悲しい	gunigtaj	42	5	11.90	
	zowlontoj	30	0	0.	
残念だ	xaramsaltaj	262	0	0.	
寂しい	ujtgartaj	35	0	0.	
煩わしい	töwögtej, tüwegtej	134	0	0.	
快適だ	tuxtaj	95	8	8.42	かなり
	tawtaj	35	0	0.	

「煩わしい」は綴りの揺れ töwögtej, tüwegtej の両者を合算した数字である。

「感情」を表す上記の語は全てが -tAj を伴う語であり、-xAn が付く語の件数は少ないが、いずれも Google 検索ではある程度検出された。

なお、モンゴル語では「痛い」「空腹だ」などの身体の反応、生理的欲求は動詞によって表されるものが多く、本稿における調査対象とならない。例えば「痛い→痛む」öwd_, 「空腹だ→腹が減る」öls_, 「喉が渇く」canga_, 「寒い→凍える」daar_, 「痒い・くすぐったい→痒くなる・くすぐったくなる」zagatna_, 「眠い→眠気に至る」nojir xür_, 「恥ずかしい→恥じる」ič_, 「怖い→怖がる」aj_ などがある。

表 12. ヒトの性質タイプ:その他の形容詞 12 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
豊かだ	bayan	471	0	0.	*11
貧しい	yaduu	565	14	2.47	かなり
いそがしい	aǰiltaj	363	0	0.	
	zawgüj	178	0	0.	
	yaaruu	29	4	13.79	かなり
せわしい	yaaraltaj	417	0	0.	
かわいそうだ	xöörxij	228	0	0.	“tun”たいへん
愛しい	xöörxön		176	-	/
	xongor	74	7	9.45	
	enxrij	34	1	2.94	

¹¹ 「豊かだ」bayanに-xAn を付した bayaxan は、解明辞典によればモンゴル語族オイラト語において使われる表現であるらしい。

親しい	nyagt	135	0	0.	かなり
	ewtej	58	34	58.62	かなり

「愛しい」xöörxön は「-xAn がついた形しかなく見える語」の1つである。同表の「かわいそうだ」xöörxij という語や「可愛がる」öxöördöx (表7 下の説明も参照のこと) といった語と関係がありそうだが、共時的には -xAn の無い形というのは見いだせない¹²。

「親しい」という意味を表す語として、上記の他に ewleg がある。この語は原形の出現数が6で -xAn のついた形が9(「-xAn の意味」は「かなり」)であった。

表 13. 速度タイプの形容詞 4 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
速い	xurdan	718	27	3.76	かなり
	türgen	340	6	1.76	かなり
遅い	udaan	713	0	0.	かなり
	aaĵim	23	2	8.69	“baga zereg”少し

出現数が少ないため bušuu, šalaw 「速い」, aaĵuu 「遅い」 は扱わなかったが、いずれも -xAn の例が多い。原形 : -xAn (%) で示すと bušuu 7:54 (771.42%), šalaw 3:4 (133.33%), aaĵuu 13:9 (69.23%) となる。

aaĵim 「遅い」に -xAn が付された場合の語釈では бага зereg 「少し」が現れた。弱意のような意味と取れる例は本稿での調査においてこれが唯一である。

表 14. 難易タイプの形容詞 4 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
難しい	xecüü	1065	36	3.38	かなり
易しい	amar	494	267	54.04	“maš”とても
	xyalbar	152	41	26.97	かなり
簡潔だ	towč	192	88	45.83	-

「易しい」「簡潔だ」はいずれも -xAn が付されやすい。なお, amar は「易しい」のほか「穏やかだ」の意味もあるが、ここでは区別せず全てここで算出している。

表 15. 同異タイプの形容詞 9 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
同じだ	adil	1322	487	36.83	かなり
	ijil	414	55	13.28	かなり
	tencüü	127	21	16.53	“neleen”かなり

¹² 「喜び」xöör という語との関連について査読者からご指摘いただいた。モンゴル語のより古い時代の姿を反映している可能性のあるモンゴル文語において、「喜び」は kör と綴られ、「愛しい」は kögerükün と綴られるので、語源的にも両者は無関係ではないかと筆者は考える。なお、本稿で問題にしている -xAn はモンゴル文語において -qan または -ken と綴られるので、この点においても xöörxön を xöör に -xAn がついたものであるとは考えにくい。

異なる	öör	5000	0	0.	
	busad	2835	0	0.	
	yalgaataj	223	0	0.	
	ondoo	142	0	0.	
	adilgüj	62	0	0.	かなり
似ている	töstej	233	0	0.	

-xAn を付しうるのが「同じだ」に偏るところが興味深い。

「異なる」ondoo に-xAn のついた ondooxon は Google 検索によって用例が確認できる。

「異なる」öör の件数には同音異義語「自分で」öör も含まれている。

表 16. 評価タイプの形容詞 4 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
正しい	zöw	2177	2133	97.97	/
	ünen	1798	0	0	
間違っている	buruu	1347	0	0	
嘘だ	xudal	310	0	0	

zöw 「正しい」に -xAn のついた zöwxön は「ただ~だけ」という別の意味の語であると考えられる。

ünen 「正しい」, buruu 「間違っている」, xudal 「嘘だ」 はいずれも -xAn を付した形が Google 検索によって得られる。

表 17. 数量タイプの形容詞 7 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
多い	olon	14090	0	0.	かなり
	baaxan		472	-	/
	ilüü	3218	0	0.	かなり
少ない	jaaxan		767	-	/
	cöön	574	340	59.23	かなり
	dutuu	385	1	0.25	かなり
珍しい	xowor	530	0	0.	かなり

baaxan は「多い」のほか「少し」という語積もあり, бага 「小さい」(表 2 を参照のこと) に -xAn のついたものである可能性がある¹³。jaaxan 「少ない」は, 塩谷 (2007: 44) によれば jaal 「少し, 幼い, 子ども」に -xAn の付いた語であるという。ここではこれらの不規則な語形変化をひとまず認めず, baaxan, jaaxan をいずれも「-xAn が付いた形しかなく見える語」と見做す。なお, jaal という語はコーパス上 101 例検出され, これに -xAn の付いた語例も 6 例見られる。

baaxan に「少し」の意味があり, かつ бага 「小さい」に由来する語であることを考慮に入れると, ここでも「小さい意味」に -xAn が偏ると言える。

¹³ この由来については, 蒙漢辞典 (内蒙古大学蒙古学研究院蒙古语文研究所 (編) 1999: 412) の baaxan にあたる語の項目に bagaxan と同じとの示唆があることを査読者よりご教示いただいた。

表 18. 位置タイプの形容詞 6 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
遠い	xol	537	17	3.16	かなり
近い	ojr	656	336	51.21	かなり
高い	öndör	3398	0	0.	かなり
低い	nam	3439	62	1.80	かなり
横だ	xöndlön	55	0	0.	
縦だ	bosoo	89	0	0.	

「遠い」よりは「近い」, 「高い」よりは「低い」と, いずれも「小さい意味」に偏っているように見える。

nam「低い」の件数には同音異義語「党」nam も多数含まれている。ジンガン・コーパス (全ジャンル) で nam biyetej「低い身長」と-xAn のついた形 namxan biyetej を検索すると 2:19 (950%) となり, -xAn の付いた形の方が多く出現している。

表 19. その他の 3 語

語義	原形	原形の件数	-xAn の件数	頻度	-xAn の意味
火がある	galt	445	0	0.	
馬がある	mor't	24	0	0.	
定期的だ	togtmol	238	0	0.	

これらの語は清格尔泰 (1991: 183) が「関係形容詞」と呼ぶもので, 「物事や動作との関係を通じて」物事の特徴を形容する語であり, 級の範疇を有さないなど形容詞的な特徴に欠く語であるという (ibid.). -xAn のついた語形が現れないのもこの説明を裏付けるものと思われる。なお, mor't「馬がある」は転じて「幸せだ」という意味も有する。

4.3. 分析

4.3.1. 意味ごとの偏り

◆意味的に大小の対になる形容詞のペアでは, 「小さい意味」の方に -xAn が付きやすい。

表 20. 大小の対になる形容詞

語義	原形	頻度	語義	原形	頻度
大きい	ix	5.01	(値段が)高い	ünetej	0.
	tom	0.51	安い	xyamd	21.57
小さい	baga	2.76	重い	xünd	1.75
	jüig	20.94	軽い	xöngön	3.03
	byacxan	-xAn のみ	空 (から) だ	xooson	0.
	öcüüxen	-xAn のみ		sul	7.25
広い	örgön	0.	詰まった	düüren	0.
	uudam	0.		bitüü	12.28

	uuġim	2.50	音が大きい	čanga	3.84
狭い	yawcuu	1.36	静かだ	čimeegüj	12.90
	dawčuu	28.57		sem	55.22
長い	urt	0.34	難しい	xeciüü	3.38
短い	bogino	11.03	易しい	amar	54.04
				xyalbar	26.97
太い	büdüün	2.24	簡潔だ	towč	45.83
細い	narijn	2.29			
厚い	zuzaan	0.74	多い	olon	0.
薄い	nimgen	3.75		baaxan	-xAnのみ
深い	gün	0.	少ない	ilüü	0.
(浅い)	güyen	-		jaaxan	-xAnのみ
古い	xuučın	0.		cöön	59.23
新しい	šine	4.02		dutuu	0.25
老いた	nastaj	0.	遠い	xol	3.16
	xögšin	0.	近い	ojr	51.21
若い	zaluu	4.88	高い	öndör	0.
年少だ	balčir	7.93	低い	nam	1.80

表 20 は、表 2~19 のうち意味的な対を成す形容詞のペアを並べたものである。各ペアの上を大、下を小とし、下側の方が頻度の数値が大きい場合に網掛けを付した。頻度欄の -xAn とは -xAn を付した形しか現れなかったことを示す。大雑把に見て、意味的に大小の対になる形容詞のペアでは、「小さい意味」の方に -xAn が付きやすいと言えそうであるが、問題もある。

tom 「大きい」は tomooxon の用例数を算入すると -xAn の頻度が高くなる可能性もある。

「狭い」に -xAn が付きやすいとしたら、なぜ yawcuu に付かないのか。

「太い」「細い」は僅差である。「高い」「低い」も僅差であるが、「低い」nam の検索結果にはゴミも含まれるため、頻度の数値は上方修正できる可能性がある。

「空(から)だ」を大、「詰まった」を小と見る根拠は特にない。「古い」「新しい」については、「老いた」「若い」に準えれば前者を大、後者を小と見る根拠になるかもしれない。

-xAn を付した形しか現れなかった語は小さい意味の方に偏るが、baaxan という語が「多い」という意味で頻用であるという反例もある。

◆大小の対とは無関係に -xAn のよく付く語がある。

次の表 21. は -xAn の付きやすいその他の形容詞をまとめたものである。

表 21. その他 -xAn の付きやすい形容詞

語義	原形	頻度	語義	原形	頻度
早い	ert	9.67	暖かい	dulaan	15.29
遅い	oroj	2.24	穏やかだ	nomxon	-xAnのみ
良い	sajn	63.00		namuun	254.54
	oligtoj	17.42	dölgöön	19.04	

悪い	muu	2.20		daruu	130.35
	taaruu	41.66	粗暴だ	širüün	16.41
快い	ayataj	62.20	悲しい	gunigtaj	11.90
変だ	jigtej	504.54	いそがしい	yaaruu	13.79
清潔だ	cewer	10.02	親しい	ewtej	58.62
便利だ	awsaar	37.50		ewleg	150.00
暗い	büdeg	19.56	同じだ	adil	36.83
軟らかい	uyan	13.82		ijil	13.28
静かだ	čimeegüj	12.90		tencüü	16.53
	sem	55.22	正しい	zöw	97.97
まっすぐだ	šuluun	46.15			

「早い」「遅い」は、本稿において調査対象としなかった時間名詞・副詞との関連で考察する必要があるだろう。

sajñ「良い」に対する sajñan「美しい」や、zöw「正しい」に対する zöwxön「ただ～だけ」などは語彙的な問題であると言えるかもしれない。しかしこうした「意味が変わっている」とされる語にも、他の語と共通する -xAn の機能解明の糸口があると考え、分析ではそれぞれ sajñ/sajñan, zöw/zöwxön と対応するものとして扱った。

「同じ」の意味を表す形容詞3語がいずれも -xAn を付しやすい。

傾向としては「穏やか」を中心として「快い」「軟らかい」「静かだ」「暖かい」「親しい」そして「清潔だ」「便利だ」などが関連するイメージを成すものとして -xAn を付しうる意味的な条件となっているように見受けられる。しかしこれらに反するような「変だ」「暗い」「粗暴だ」「悲しい」「忙しい」なども含まれるため、さらなる語彙調査や詳細な分析を要する¹⁴。

他方で、逆にヒトの性質タイプの形容詞は -xAn の付かないものも多く見られた。-tAj などの派生接辞を伴う形容詞が多いという形態論的な理由もあるかもしれないが、Google 検索による補助的な調査では -tAj を伴う語でも -xAn が付される例は検出された。

4.3.2. -xAn の使い分け

ここでは -xAn が用いられる要因が文体差にあるのではないかと¹⁵と考え、ジンガン・コーパスを用いた簡易な調査を行う。4.2. の調査によって原形の検索件数も多く、かつ -xAn の頻度も高い形容詞を10語選出し、ジンガン・コーパスの「インタビュー記事」「その他ニュース」「小説」「物語」でそれぞれ原

¹⁴ -xAn の使用が「快不快などの感情受容」と関わりがあるのではないかと指摘を査読者からいただいた。この点は -xAn の意味分析にも関わるもので重要だが(注15も参照)、本稿では検討するに及ばなかった。今後の課題としたい。

¹⁵ この他にモンゴル国出身の30代の女性2~4人を対象としたエリシテーション調査も実施し、-xAn が用いられる要因を調査しようとしたが、十分な成果が得られなかったためここでは概略的に述べるに留める。Google フォームを利用し空欄に合う語を自由に選んでもらうアンケートを作成し回答を集めた。結果として yamar「なんと」、maš「とても」などの語と -xAn は共起しやすそうな傾向があること、そのような環境を整えても -xAn がもともと付きにくい語には -xAn は付かないこと、数字などの客観的な情報を加えても -xAn の選択に影響を与えないであろうこと、などの示唆があった。yamar「なんと」、maš「とても」といった語と共起しやすいことは、先行研究ですでに言及されている「強意」の意味を有することに他ならないが、-xAn そのものが「強意」を担うならば「強意」を担う程度副詞などと共起するのは奇異であるとも思える。

形と -xAn の件数を算出してみる。次の表は、左列から順に原形、語義、ライブツイヒ・コーパスで調査した 4.2. の結果、ジンガン・コーパスの 4 種類のコーパスで調べた結果である。それぞれのコーパス列の左側は分母を原形の検索件数、分子を -xAn の検索件数とした分数であり、右側はこれを百分率に置き換えたものである。

表 22. 文体差の調査 (ライブツイヒ・コーパスにおける -xAn の頻度順)

原形	語義	ライブツイヒ		インタビュー		その他ニュース		文学		物語	
		分子	百分率	分子	百分率	分子	百分率	分子	百分率	分子	百分率
cöön	少ない	340 /574	59.23	7 /9	77.77	1 /3	33.33	22 /69	31.88	0 /0	-
amar	易しい	267 /494	54.04	53 /60	88.33	7 /17	41.17	102 /231	44.15	1 /14	7.14
ojr	近い	336 /656	51.21	59 /91	64.83	8 /12	66.66	85 /218	38.99	2 /4	50.00
adil	同じだ	487 /1322	36.83	78 /153	50.98	14 /37	37.83	117 /476	24.57	3 /9	33.33
xyamd	安い	85 /394	21.57	10 /41	24.39	0 /12	0.	14 /26	53.84	0 /0	-
jijig	小さい	240 /1146	20.94	47 /127	37.00	8 /32	25.00	136 /169	80.47	2 /8	25.00
dulaan	暖かい	69 /451	15.29	9 /71	12.67	1 /5	20.00	50 /164	30.48	0 /4	0.
bogino	短い	47 /426	11.03	14 /70	20.00	1 /5	20.00	40 /70	57.14	0 /0	-
ert	早い	45 /465	9.67	3 /67	4.47	0 /17	0.	59 /246	23.98	4 /31	12.90
seriün	涼しい	12 /129	9.30	1 /21	4.76	0 /1	0.	11 /86	12.79	0 /0	-

これを積み上げ棒グラフにしたのが図 2 である (グラフでは 0/0 を 0 とした)。パーセンテージのポイントは多ければ多いほど原形との比率において -xAn が出やすいということであるので、相対的に見て文学とインタビューが -xAn の出やすいジャンルであるといえることができる。これはすなわち話し言葉的な表現で -xAn が用いられやすいことの反映であろう。この点で、おそらくニュース記事をジャンルに分けずに収集したライブツイヒ・コーパスが、ジンガン・コーパスにおけるインタビューとその他ニュースの間くらいのポイントとなっているのは合理的である。民話で構成される物語コーパスではこうした話し言葉的な表現が出にくいこともグラフから見て取れる。ただし物語コーパスは規模が小さいため用例が得られない語もあった。これらは 0 ポイントとして換算したので、合計ポイントが小さくなるのは必然である。

また子細に見ると、インタビューと文学の間にも性格の違いがあることが分かる。表 22. の上位 4 語 (グラフでは左から 4 つ) のうち ojr 「近い」 以外はインタビューが他を圧倒している。他方で文学は 5~10 位の語において他を圧倒している。「少ない」 cööxön, 「易しい」 amarxan, 「近い」 ojrxon, 「同じだ」 adilxan といった語は、-xAn の付いた形で日常的にも定着していることがインタビュー記事での現れに反映され

ているのではないだろうか。一方、文学作品では「小さい意味」を有する「小さい」「短い」といった語に付されているが、これは -xAn の本来的な用法が書き言葉に残されているものとも見うる。すなわち -xAn は現代モンゴル語において話し言葉を中心に新しい用法 (adil「同じ」に付されるなど)を発達させてきたが、本来は専ら「小さい意味」を有する語に専ら付されていたものなのかもしれない。

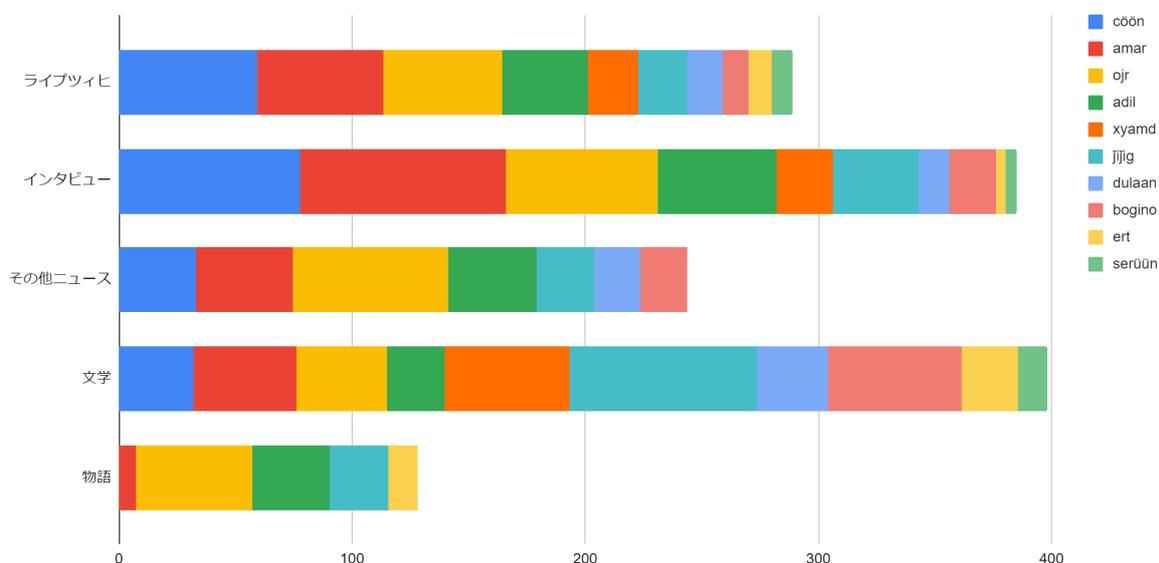


図 2. 文体差の調査

5. おわりに

本稿ではモンゴル語の形容詞を選び出し、-xAn がどのような形容詞に付されるのかをコーパスで得られたデータから示した。その多くは従来から直観的にある程度知られていたことであつたが、「小さい意味」の語や「穏やか」を中心とした語に付されやすいことを数量的に示したことになる。

本稿の残された課題と今後の展望として、次の2点を挙げる。1つは、-xAn の機能の記述である。今回はどんな形容詞に付されうるかという観点に立ってコーパス調査を行った。今後はまず時間や場所を表す副詞的な語に付く -xAn も調べることで、その共通する特徴を明らかにしていく。さらにどのような語に付かないのか、どのような場合に付けないのかという観点からの調査も必要である。本稿においてもコーパスや辞書の見出し語で見いだせなかった語を、改めて Google 検索で補助的に調べるということを行った。しかし音韻形態的な条件で -xAn が付けられないのか、意味的語用的な要因で付けにくいのかと言った観点での分析は行わなかった。実際にどのような文において用いられるのかも、コーパスから得られる用例を精査する必要がある。

もう1つは -xAn を始めとする「比較の範疇」(清格尔泰 1991: 187) について研究を発展させていくことで、モンゴル語の形容詞の諸問題を解決していくことである。-xAn に似た機能を持つとされる接辞に -wtAr や -dUU といった接辞があるが、-xAn と同じように使えるのか、同じ語に付されうるのか、その他の「比較の範疇」とどれほど重複して使用可能であるのか、など解明すべき問題はまだまだ山積している。本稿でまとめたモンゴル語の形容詞のリストについても、叩き台として提示したに過ぎないものであるので、洗練させていくことが求められる。

参考文献

- デムベレル, S. 2012. 『和蒙大辞典』 SibaService. (アプリ版)
- Dixon, R. M. W. 2010. 12. The Adjective Class. *Basic Linguistic Theory*, Volume 2 Grammatical Topics. New York: Oxford University Press. 電子版.
- Janhunen, Juha A. (2012) *Mongolian*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins.
- ジンガン (2010) 「モンゴル語のモダリティ：コーパスに基づく記述的研究」東京外国語大学博士論文.
- 風間伸次郎. 2020. 「モンゴル語文法研究ノート (1)」東京外国語大学語学研究所『語学研究所論集』第25号. 47-61.
- Kullmann, Rita & Dandii-Yadmyr Tserenpil. 2005. *Mongolian Grammar*. Third edition. Ulaanbaatar: Admon. Co.Ltd.
- Mongol Ulsyn Yöronxijlögčijn dergedex Xelnij bodlogyn ündesnij zöwöl. 2018. *Mongol xelnij zöw bičix dürmijn juramlasan tol'*. <http://toli.gov.mn/> (2021/11/09 確認)
- 向井晋一. 2006. 「モンゴル語>文法モジュール>形容詞・副詞のさまざまな表現 解説」『東京外国語大学言語モジュール』 <http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/mn/gmod/contents/explanation/075.html> (2021/11/09 確認).
- 内蒙古大学蒙古学研究院蒙古语文研究所 (編). 1999. 『蒙汉词典 (增订本)』呼和浩特: 内蒙古大学出版社.
- Poppe, Nikolaus. 1951. *Khalkha-Mongolische Grammatik. mit Bibliographie, Sprachproben und Glossar*. Wiesbaden: Franz Steiner Verlag.
- 清格尔泰. 1991. 『蒙古语语法』呼和浩特: 内蒙古人民出版社.
- 塩谷茂樹. 2007. 『モンゴル語ハルハ方言における派生接尾辞の研究』大阪外国語大学学術研究双書 35: 大阪外国語大学研究推進室編集部門.
- 《新蒙汉词典》编委会 (編). 1999. 『新蒙汉词典』商務印書館.
- 山越康裕. 2000. 「現代モンゴル語における「名詞」と「形容詞」について」『日本モンゴル学会紀要』第30号: 97-107.
- Mongol Xelnij Ix Tajlbar Tol'. 2016. <https://mongoltoli.mn/dictionary/> (2021/12/10 確認).

執筆者連絡先: yamadabayar@tufs.ac.jp

原稿受理: 2021年12月11日